

認証連携のための学術認証フェデレーションの展開

The Leveraging of the Academic Shibboleth Federation

旧UPKI認証フェデレーションは、

学術認証フェデレーション

GakuNin として新たな一歩を踏み出します

学術認証フェデレーションの運用状況

現在の運用フェデレーション参加機関(IdP)

- 国立情報学研究所 ・ 名古屋大学 ・ 山形大学
- 千葉大学 ・ 京都大学 ・ 広島大学 ・ 金沢大学
- 北海道大学 ・ 筑波大学 ・ 佐賀大学
- 山口大学 ・ 成城大学 ・ 九州大学 (予定)

総ID数 ≒ 20万ID

参加機関募集中！！

<https://upki-portal.nii.ac.jp/docs/fed>

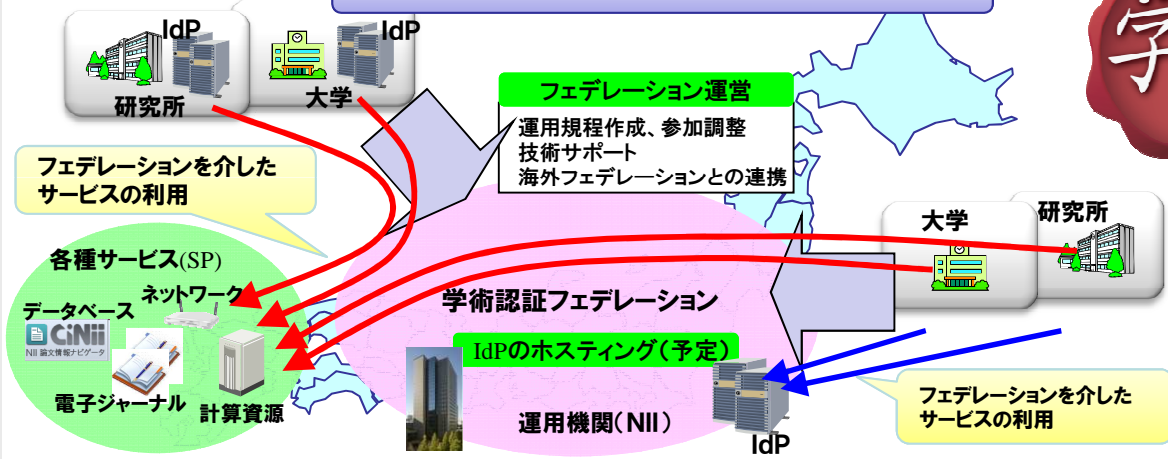
運用フェデレーション	
IdP	SP
国立情報学研究所	名古屋大学
千葉大学	山形大学
京都大学	広島大学
北海道大学	金沢大学
筑波大学	佐賀大学
山口大学	成城大学
九州大学	九州大学
サービスプロバイダ (SP)	
Elsevier, Science Direct	Elsevier, SCOPUS
Springer, SpringerLink	Thomson Reuters, Web of Knowledge
Quest, OneSP	Microsoft, DreamSpark
ProQuest, FullWorks	CLIP, Cambridge Journals Online
Atlassian, Panopticon Images	NII, Fishare (File Sharing Service)
	for Video Conferencing
	(Temporary education account taking)
	File Transfer Service (Japanese - English)
	Why, Openx non-Bibliographic Contents Service

学術認証フェデレーションの活用事例

- ▶ 学内シングルサインオン
 - ▶ アカデミック配付
 - ▶ 遠隔講義・遠隔会議の実施を支援
 - ▶ 無線LANのアカウント発行サービス
 - ▶ 大容量ファイル交換サービス
 - ▶ 電子ジャーナル
 - ▶ 論文の検索・購読・管理の連携
- ...続々と新しいタイプのサービスが登場

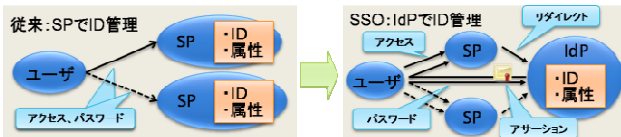


学術認証フェデレーションの概要

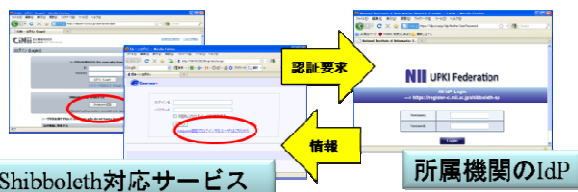


フェデレーションとは

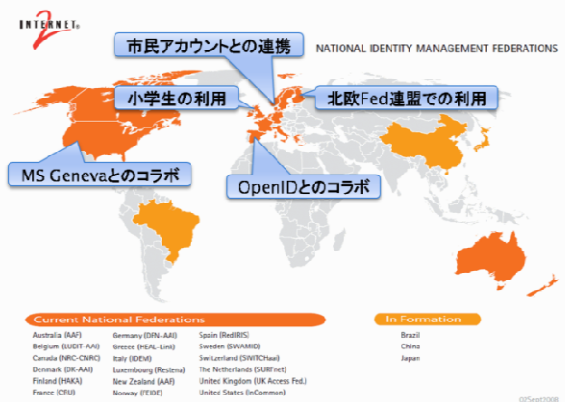
フェデレーション = ID管理基盤とそのIDを利用するサービス群の連合体
 ✓ サービスとID管理を分離するしくみ
 負担軽減、一元管理、etc... さまざまなメリットがある



一般利用者への見え方:



世界的協調: インターフェデレーション



今でも同じ技術を用いたIdP/SP同士が国を越えて結びつき利用されていますが、さらに世界各地で立ち上げられたフェデレーション同士がむすびつきインターフェデレーションを形成することを目指しています。



連絡先: 国立情報学研究所学術基盤推進部 基盤企画課 総括・連携システムチーム

TEL: 03-4212-2218/2226 FAX: 03-4212-2230 Email: upki-office@nii.ac.jp URL: <https://upki-portal.nii.ac.jp/>

